

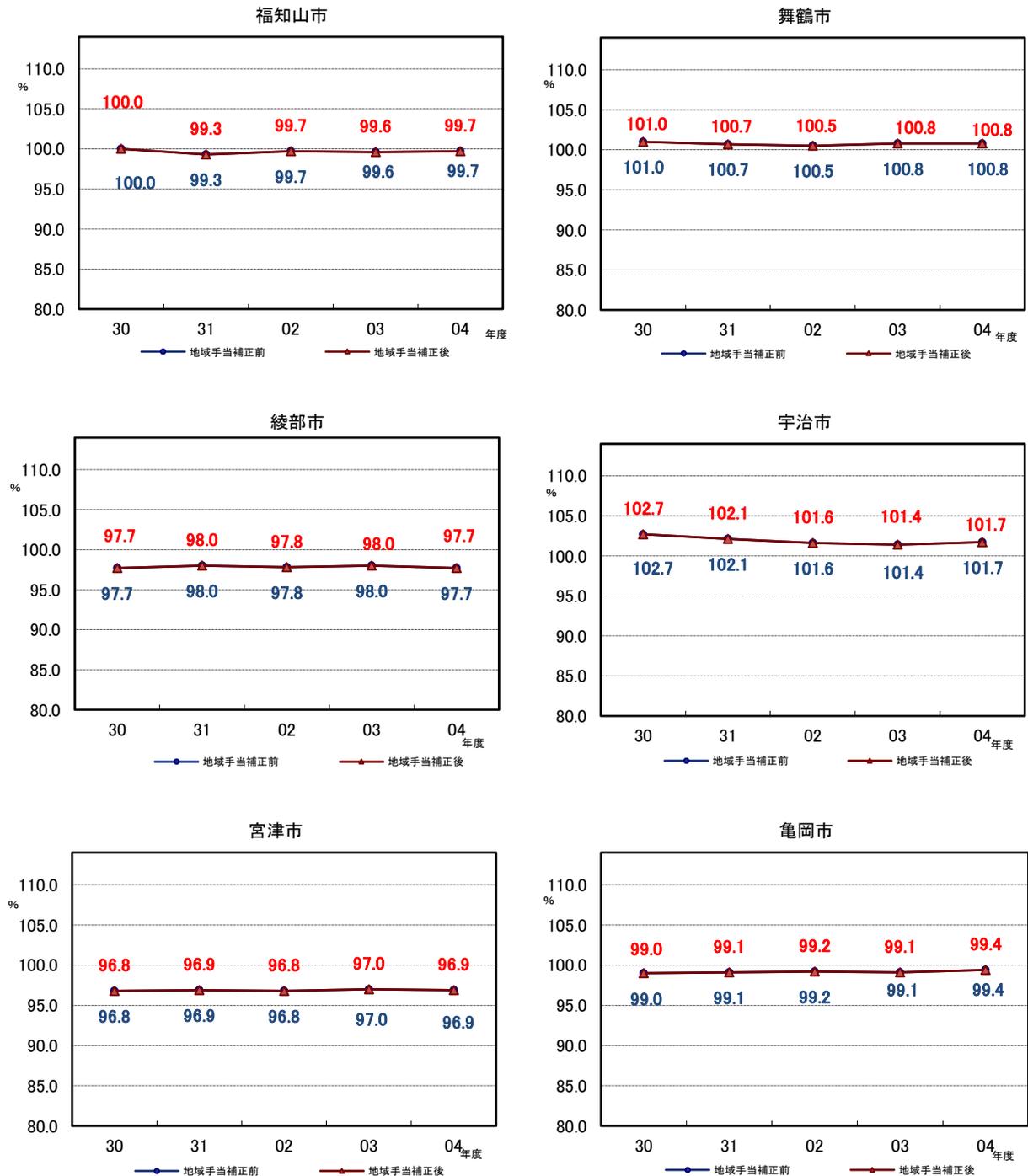
2 定員・給与編

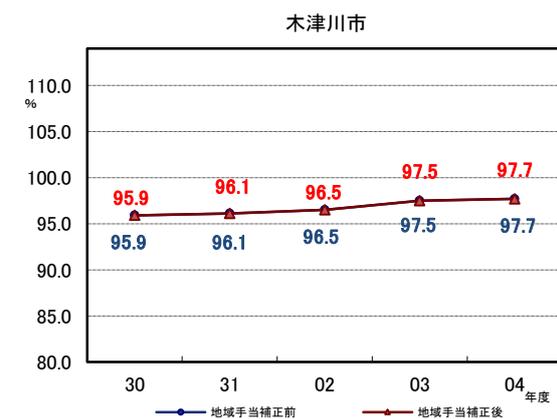
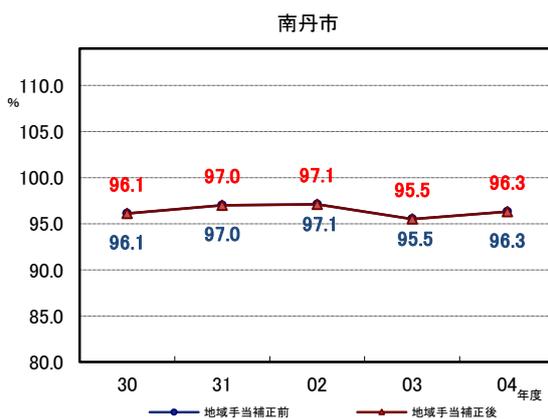
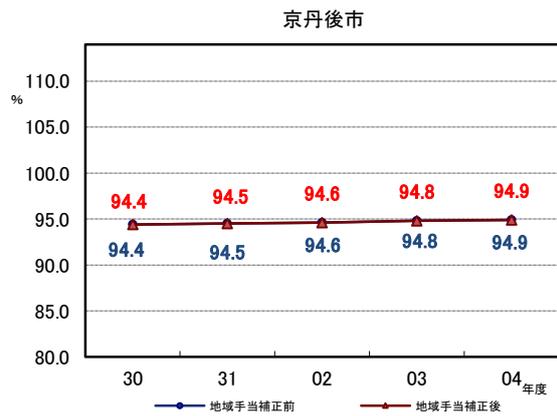
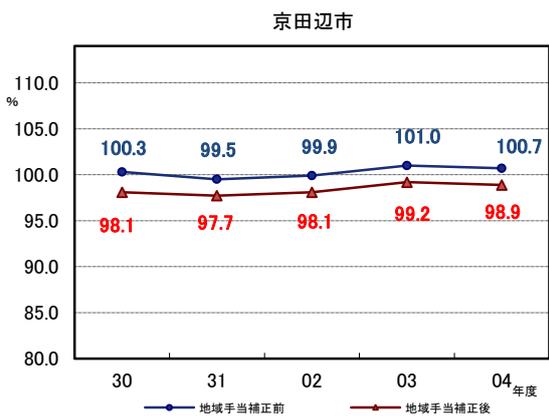
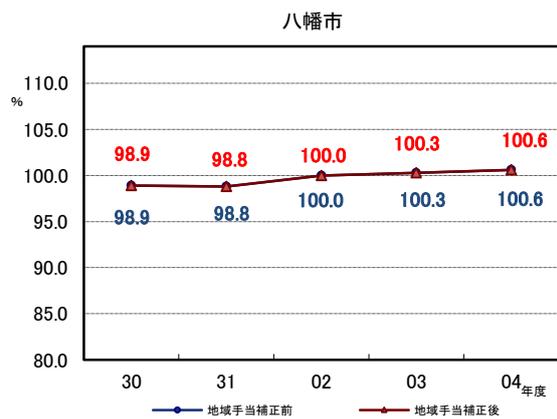
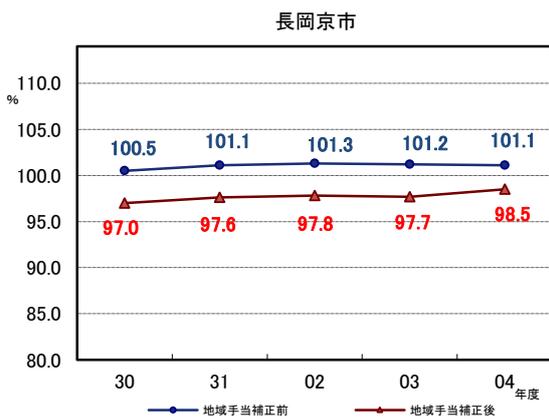
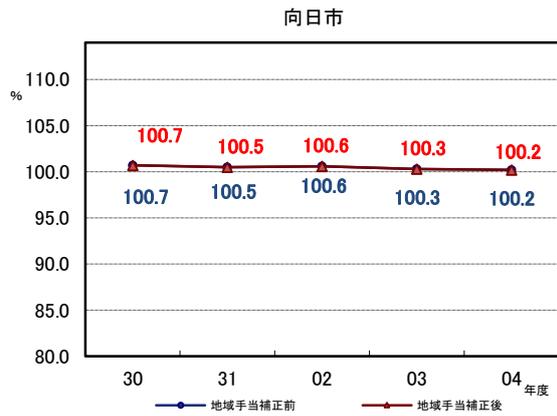
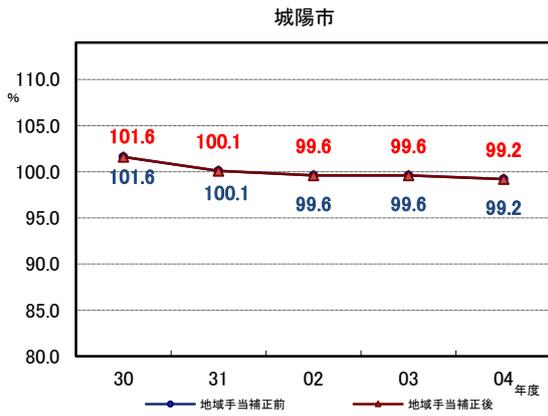
2-1 給与構造改革の状況

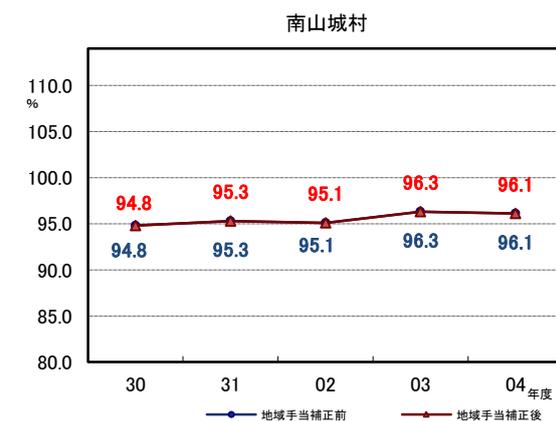
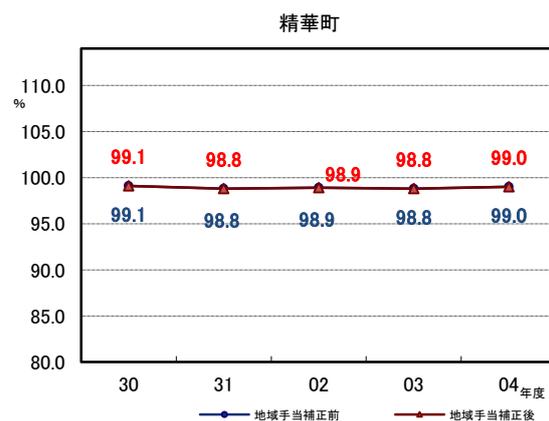
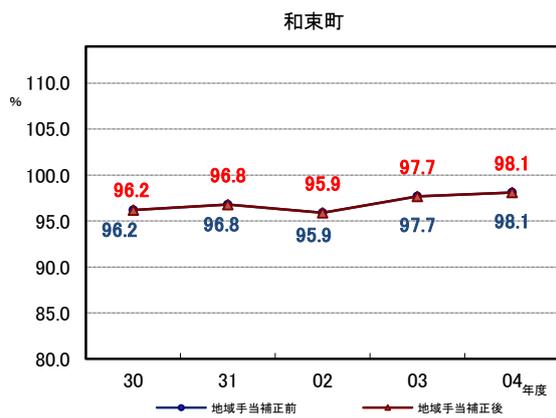
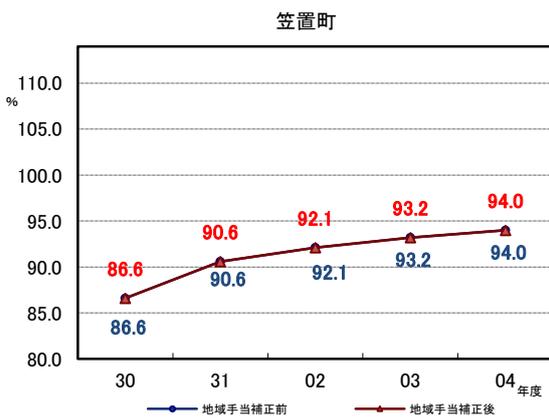
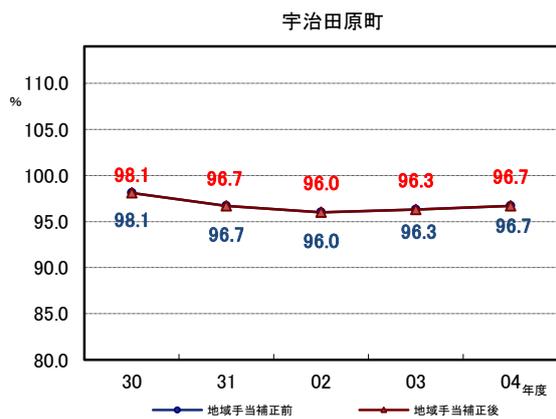
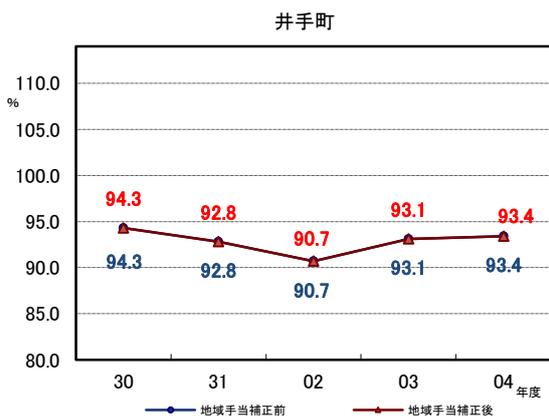
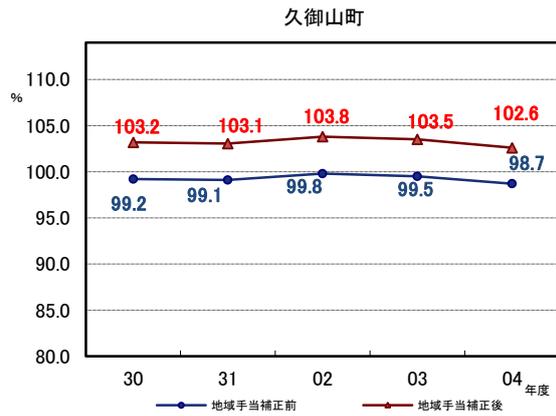
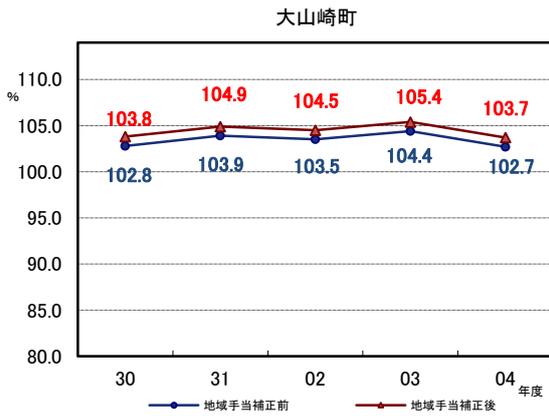
(1) ラスパイレス指数の状況

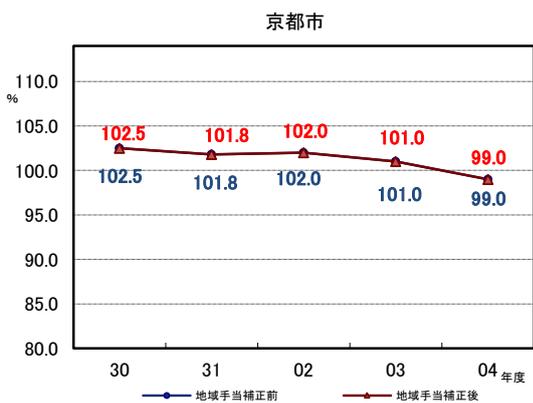
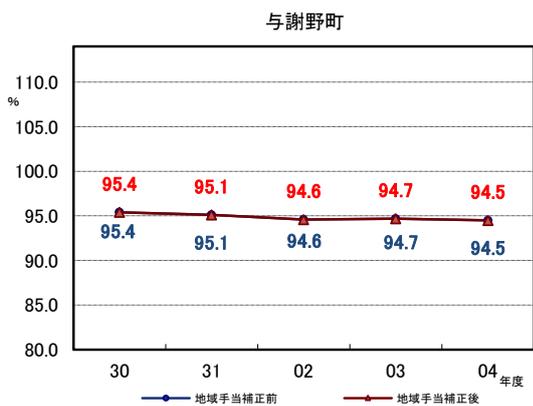
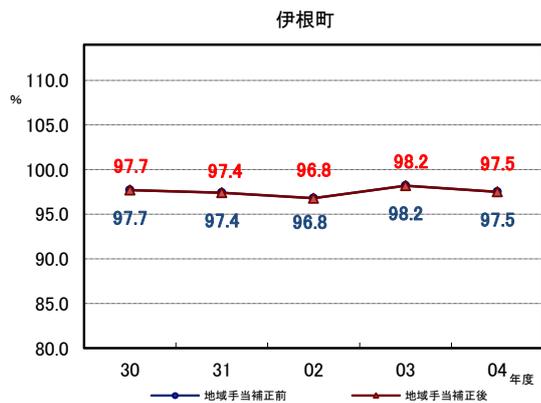
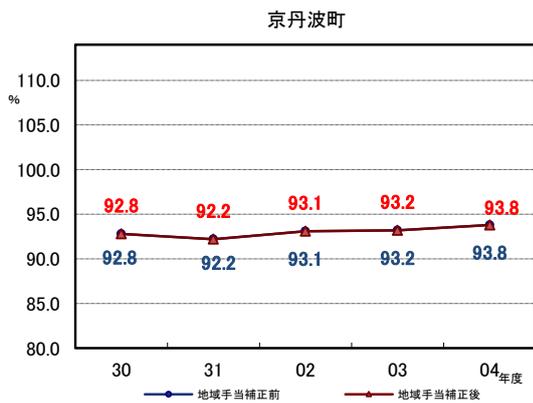
- 令和4年4月1日現在ラスパイレス指数（地域手当補正前）の府内市町村平均（京都市除く）は、98.1です（令和3年4月1日現在：98.1）。
- 府内市町村平均は、昨年と比べほぼ横ばいで、一部市町村においては、職員構成や経験年数階層の変動等が要因でラスパイレス指数の変動がみられます。

資料9 ラスパイレス指数の推移（一般行政職：毎年4月1日現在）







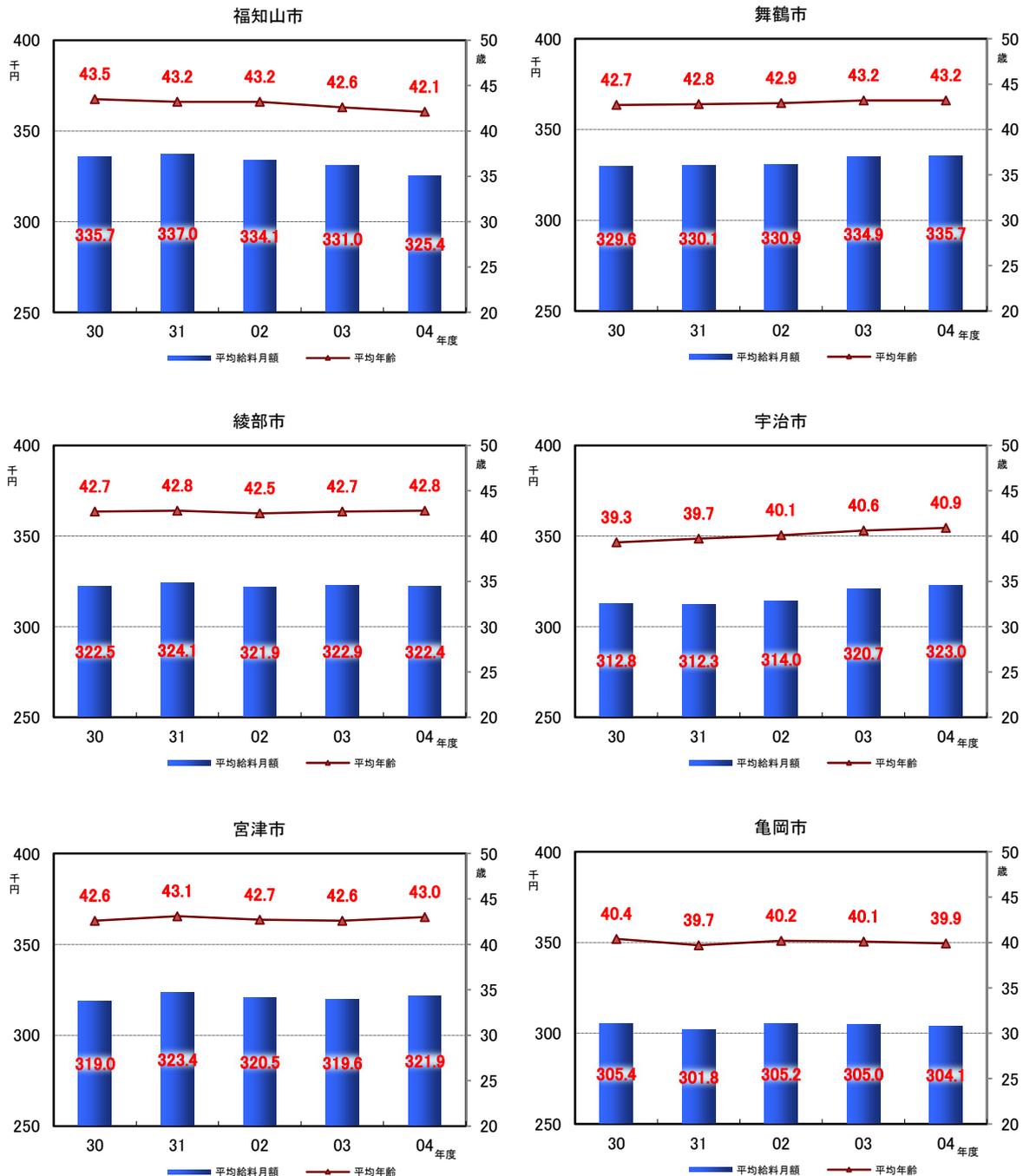


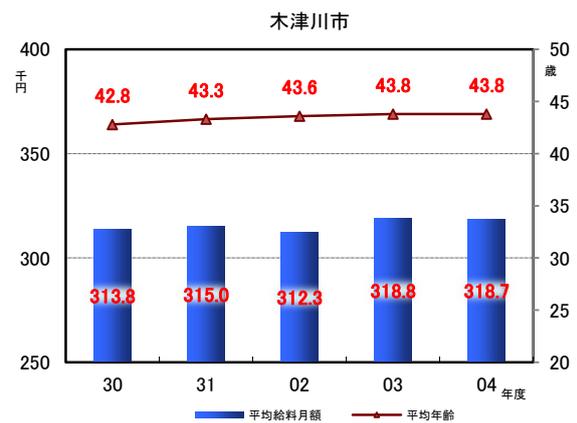
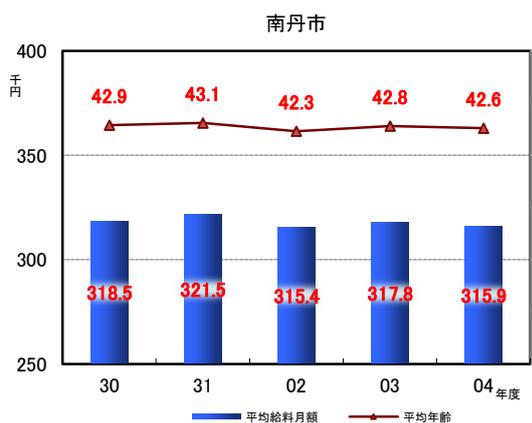
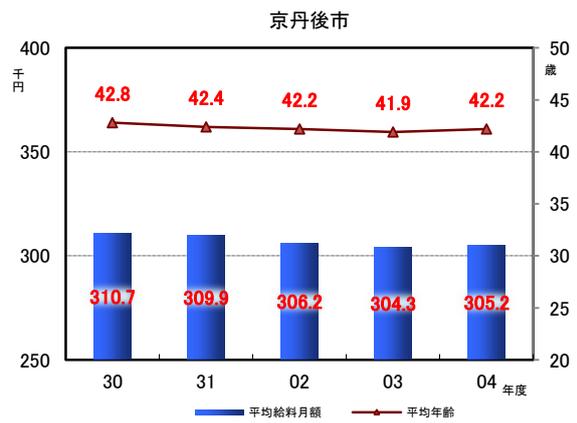
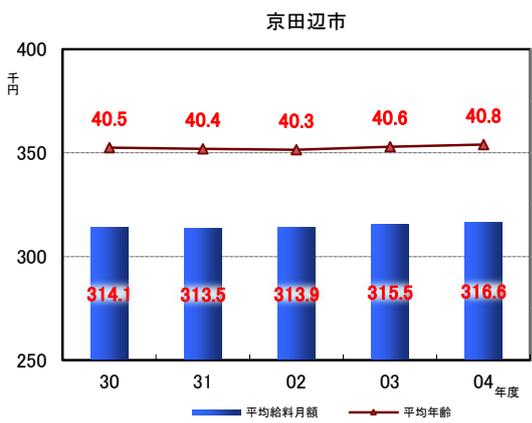
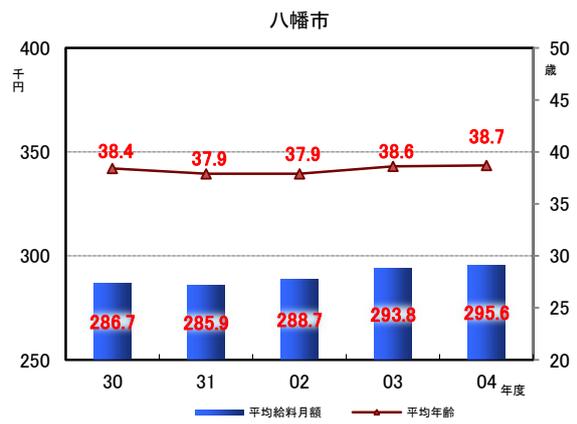
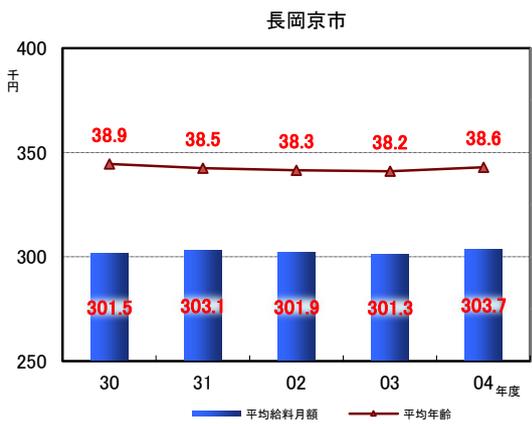
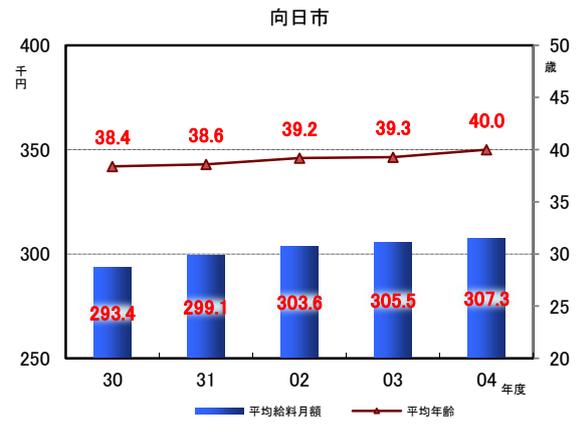
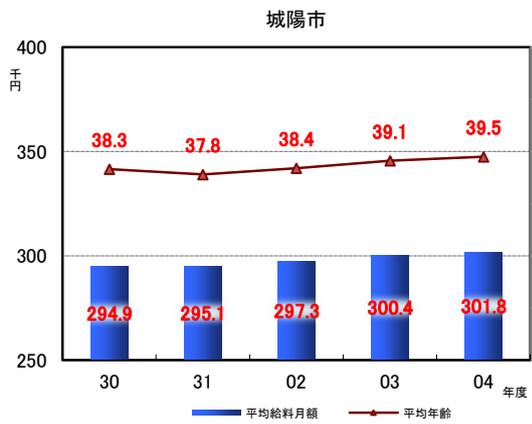
※ラスパイレス指数：地方公務員と国家公務員の給与水準を比較するため、一般行政職について、国家公務員の職員構成を基準として、学歴別・経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したもの

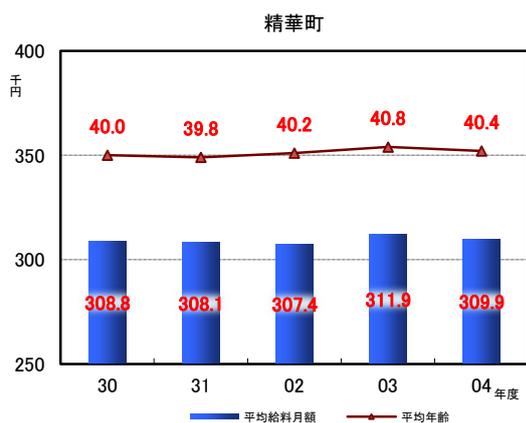
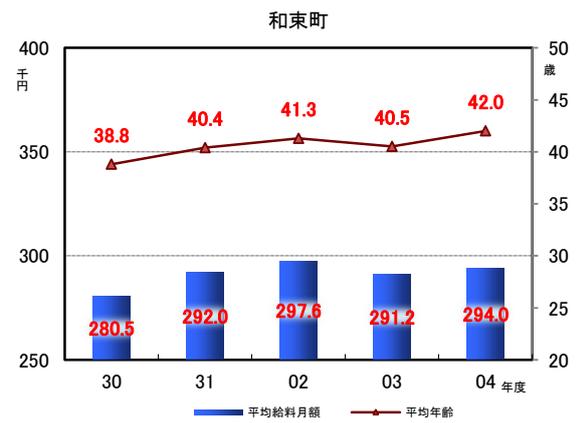
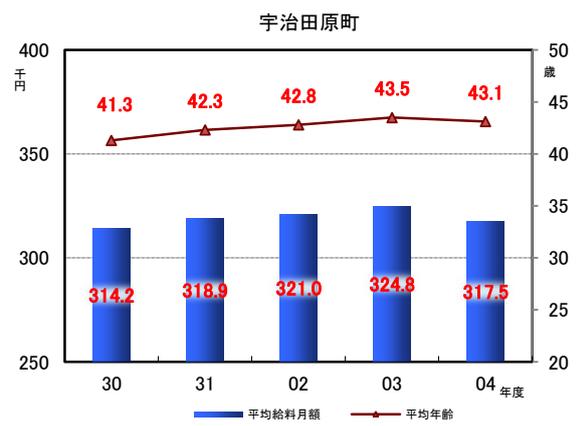
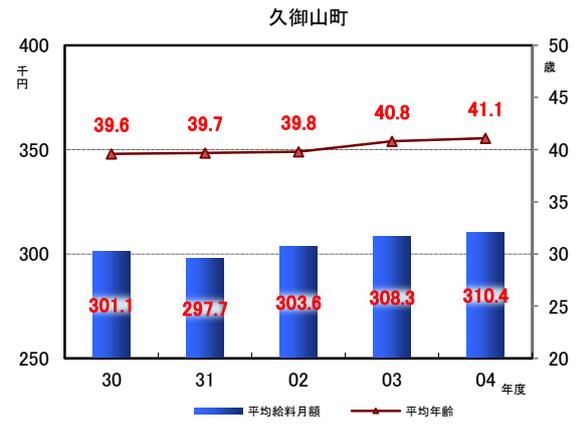
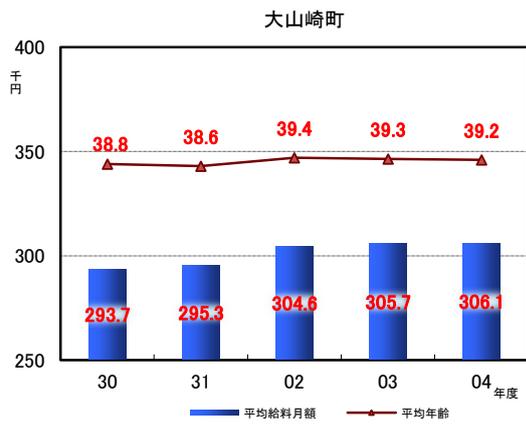
(2) 平均給料月額及び平均年齢の状況

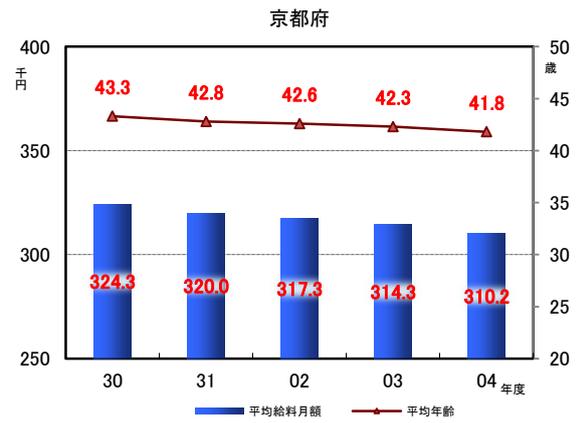
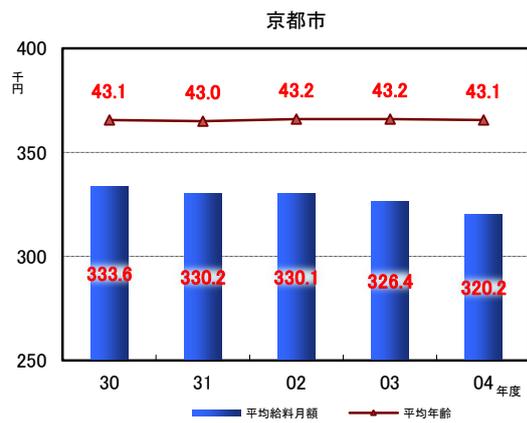
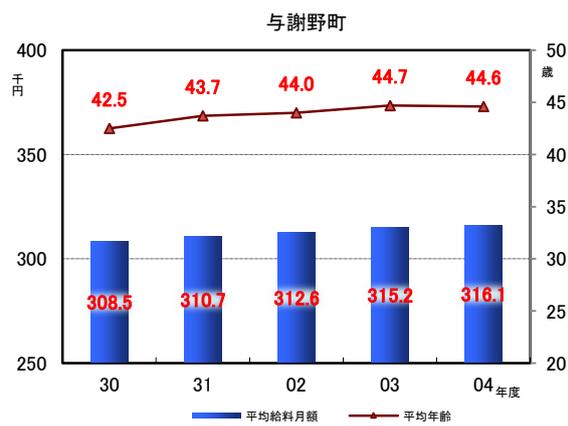
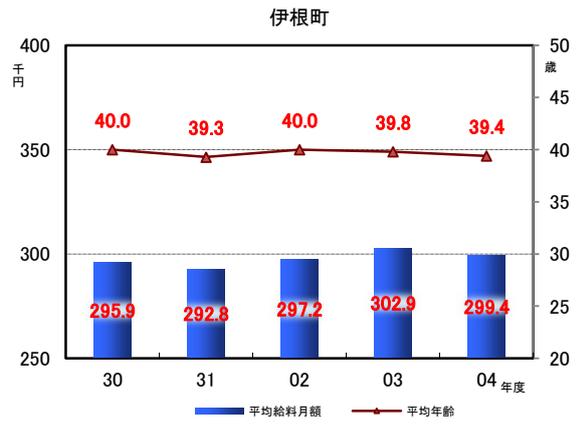
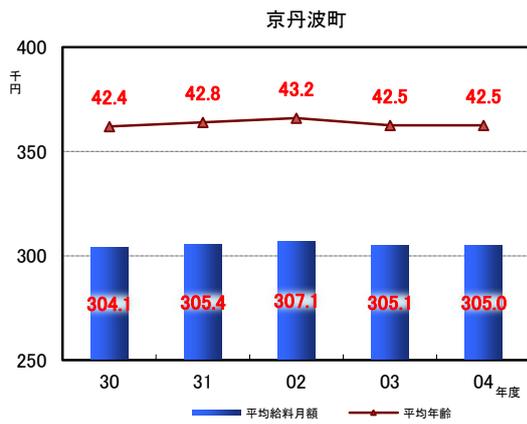
- 各団体においては、これまで行財政改革推進のため、定員管理の適正化の取組として、長期的に採用を抑制してきたところですが、近年は団塊世代の退職に伴う若年層の採用人数の増加により、職員の平均年齢は若年化傾向にあります。
- また、職員の若年化や、複数の市町村において給与削減措置が実施されていることにより、平均給料月額は減少傾向にあります。

資料10-1 平均給料月額及び平均年齢の推移（一般行政職：毎年4月1日現在）









資料10-2 給料表の級数、最高号給(一般行政職:令和4年4月1日現在)

	1級		2級		3級		4級		5級	
	最高号給	額								
京都市	97	2,707	137	3,339	149	3,800	117	4,091	105	4,324
福知山市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	113	3,890	113	3,980
舞鶴市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
綾部市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	101	3,834	93	3,930
宇治市	93	2,507	125	3,080	113	3,544	125	3,986	117	4,039
宮津市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
亀岡市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	113	3,890	101	3,950
城陽市	93	2,476	125	3,042	125	3,545	125	3,938	113	3,980
向日市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	109	3,882	109	3,970
長岡京市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
八幡市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
京田辺市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	117	3,906	121	4,000
京丹後市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
南丹市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
木津川市	93	2,476	125	3,042	113	3,500	113	3,890	109	3,970
大山崎町	93	2,507	125	3,080	113	3,544	105	3,906	93	3,979
久御山町	93	2,476	125	3,042	125	3,545	105	3,858	97	3,940
井手町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
宇治田原町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
笠置町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,930	85	4,102
和束町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
精華町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	125	3,938	117	3,990
南山城村	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
京丹波町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
伊根町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
与謝野町	93	2,476	125	3,042	113	3,500	93	3,810	93	3,930
京都府	93	2,507	125	3,080	113	3,544	101	3,890	93	3,979

単位:百円

	6級		7級		8級		9級		10級	
	最高号給	額	最高号給	額	最高号給	額	最高号給	額	最高号給	額
京都市	97	4,702	89	5,143	81	5,731				
福知山市	105	4,152	81	4,514						
舞鶴市	85	4,102	61	4,449	45	4,686				
綾部市	85	4,102	61	4,449						
宇治市	105	4,204	77	4,557	65	4,820				
宮津市	85	4,102								
亀岡市	93	4,122	65	4,462						
城陽市	93	4,122	77	4,501						
向日市	85	4,102	61	4,449						
長岡京市	85	4,102	61	4,449						
八幡市	85	4,102	61	4,449						
京田辺市	117	4,182	77	4,501						
京丹後市	85	4,102	61	4,449						
南丹市	85	4,102	61	4,449						
木津川市	85	4,102	61	4,449						
大山崎町	85	4,154	61	4,505						
久御山町	89	4,112	61	4,449						
井手町	85	4,102								
宇治田原町	85	4,102								
笠置町	60	4,035								
和束町	85	4,102								
精華町	97	4,132	61	4,449						
南山城村	84	4,102								
京丹波町	85	4,102								
伊根町	85	4,102								
与謝野町	85	4,102								

京都府	85	4,154	61	4,505	45	4,745	41	5,341	21	5,665
-----	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

資料 10-3 地域手当の支給割合状況
(令和4年4月1日現在)

(単位: %)

地域手当支給団体 (12団体)	地域手当支給率	国支給率
京都市	10	10
宇治市	6	6
亀岡市	6	6
城陽市	3	3
向日市	6	6
長岡京市	13	16
八幡市	6	6
京田辺市	10	12
木津川市	6	6
大山崎町	4	3
久御山町	4	0
精華町	6	6

※ 地域手当0%団体 (14団体)

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、
井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、
京丹波町、伊根町、与謝野町

<京都府における地域手当支給率> (単位: %)

勤務地	地域手当支給率
京都市	9.4
宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、 長岡京市、八幡市、京田辺市、大山 崎町、久御山町	5.4
木津川市、井手町、宇治田原町、笠 置町、和束町、精華町、南山城村	4.4
上記以外の地域	3.2

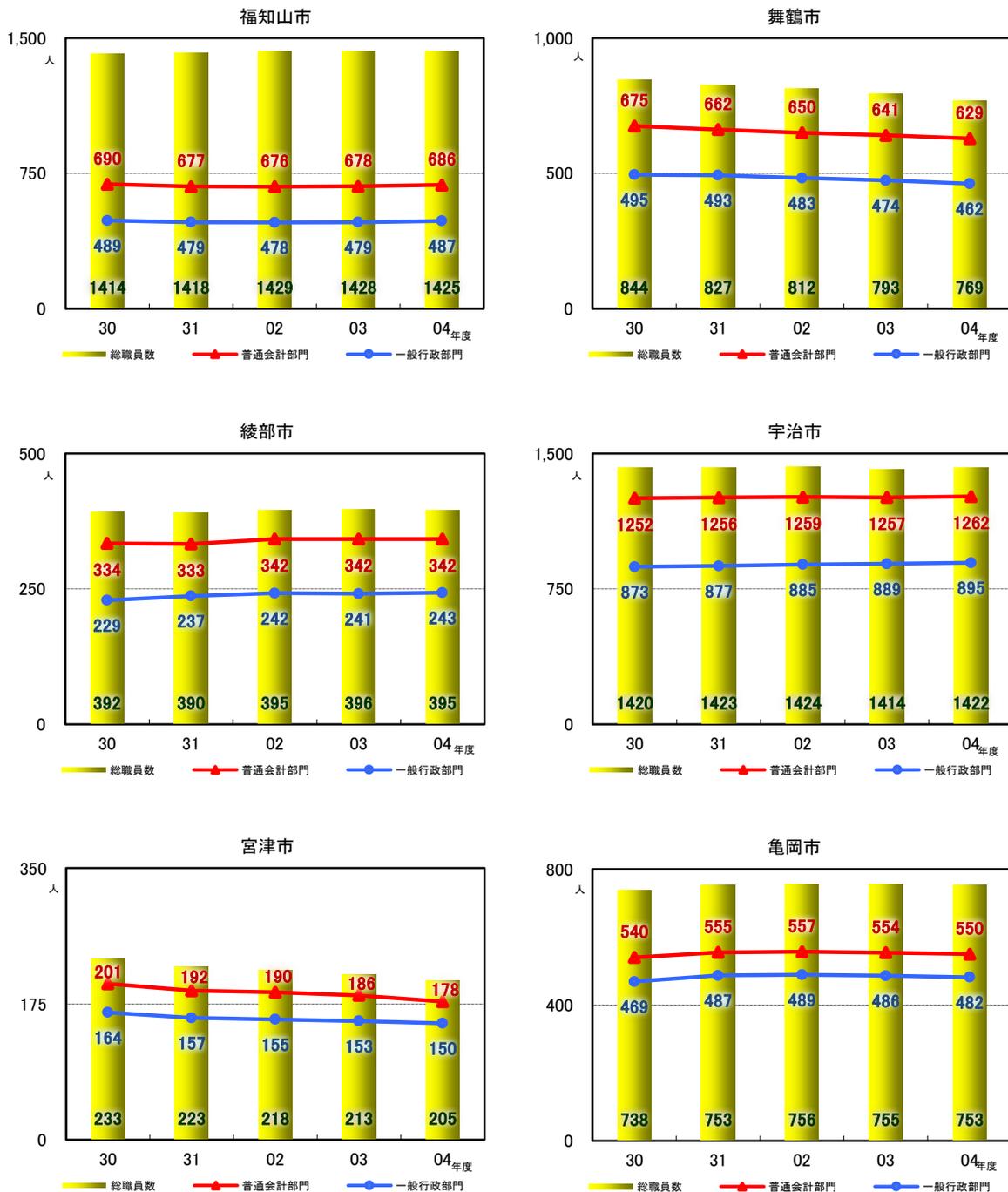
資料10-4 令和3年度給与削減措置の状況(令和3年4月1日現在)

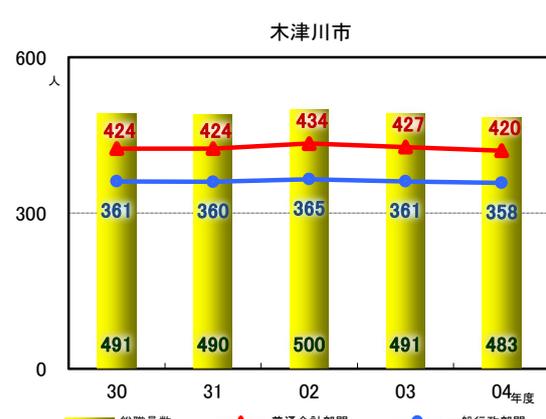
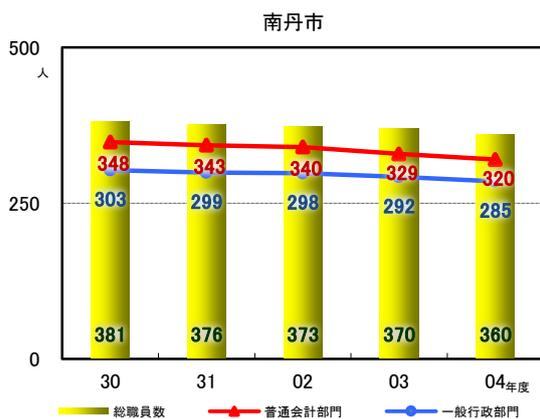
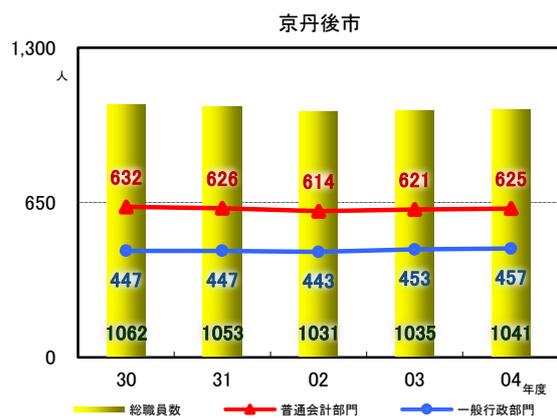
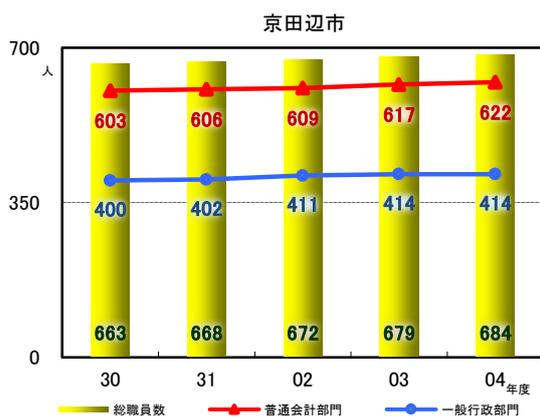
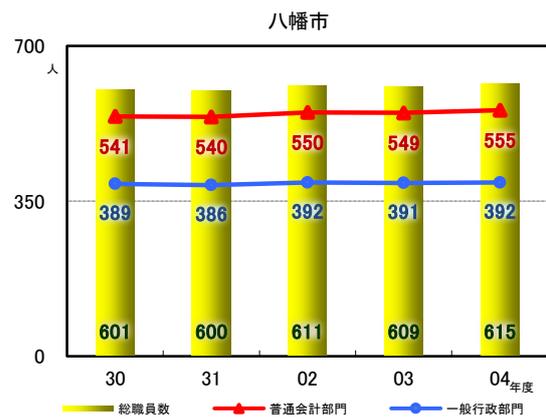
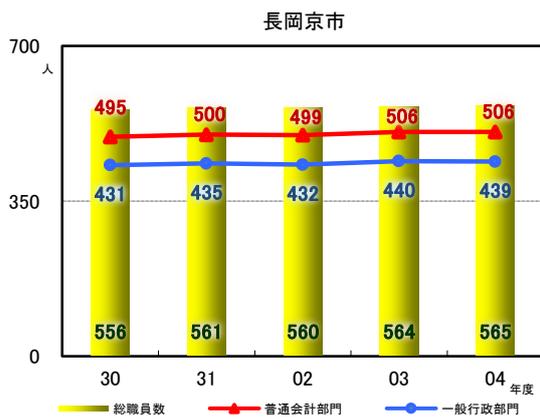
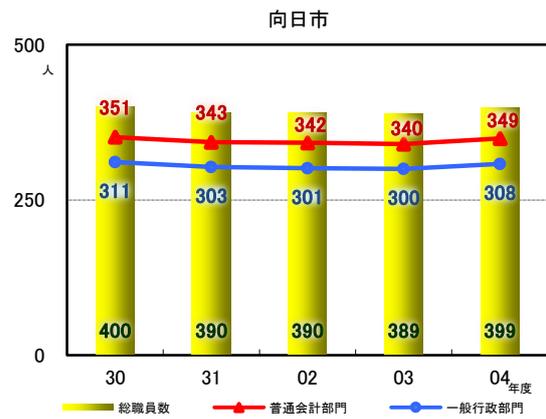
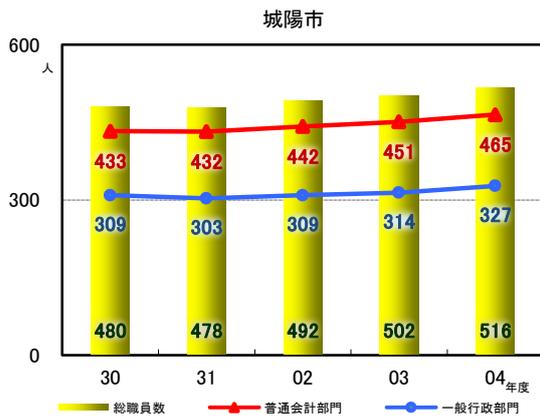
団体名	令和3年度給与削減			1 一般職(教育長を除く)			2 特別職(教育長を含む)		
	一般職のみ	特別職のみ	両方	令和3年度中の給与削減措置					
				削減内容			削減内容		
				給料(%)	管理職手当	その他手当	給料(%)	期末手当	その他手当
京都市			○	6%(局長級)~2.5%(2級) ※課長補佐級(5級)以下職員は、7月から実施			30%(市長) 15%(副市長) 6%(教育長及び公営企業管理者) 5%(常勤の監査委員)	30%(市長) 15%(副市長) 5%(常勤の監査委員)	地域手当 30%(市長) 15%(副市長) 5%(常勤の監査委員)
福知山市			○				10%		
舞鶴市			○					12%	
綾部市									
宇治市			○	3%~5%(管理職員)			10%		
宮津市			○		50%		20%		
亀岡市		○							退職手当 10%
城陽市		○							退職手当 5%
向日市									
長岡京市			○			地域手当 4%	3%		地域手当 4%
八幡市									
京田辺市									
京丹後市		○					10%(市長) 5%(副市長、教育長)	10%(市長) 5%(副市長、教育長)	
南丹市									
木津川市									
大山崎町									
久御山町									
井手町									
宇治田原町			○		10%		10%(町長) 7%(副町長、教育長)		
笠置町									
和束町									
精華町									
南山城村		○					20%		
京丹波町		○					10%		
伊根町									
与謝野町									
京都府			○	1.5%~2%(管理職員)			4%~8%	4%~8%(知事・副知事)	地域手当(知事・副知事) 4%~8%

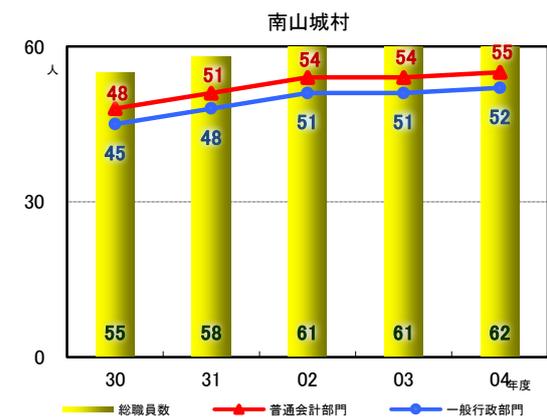
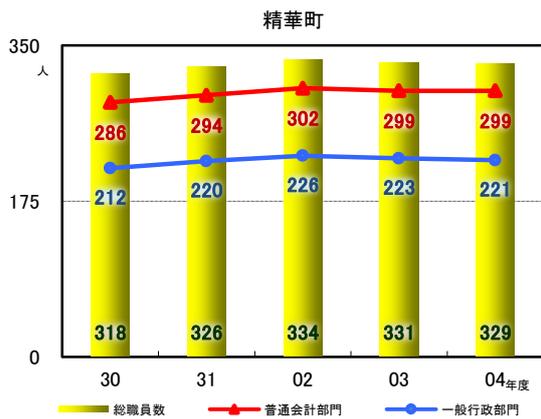
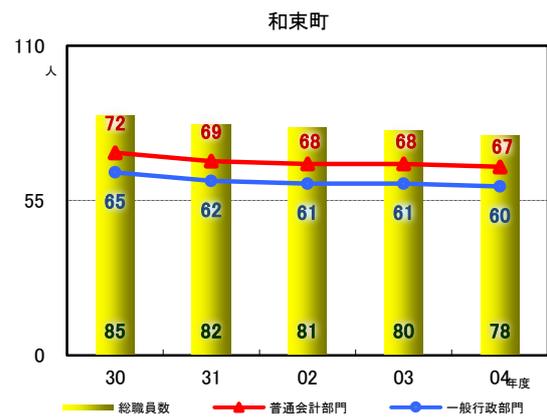
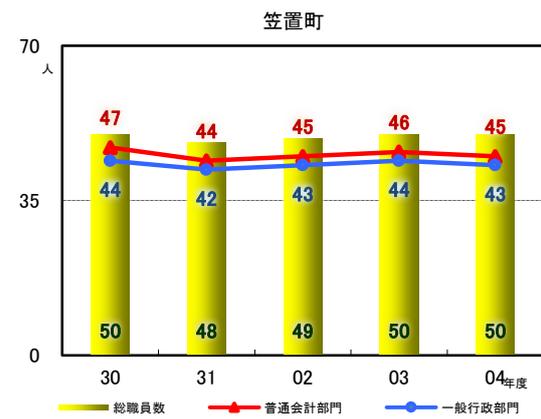
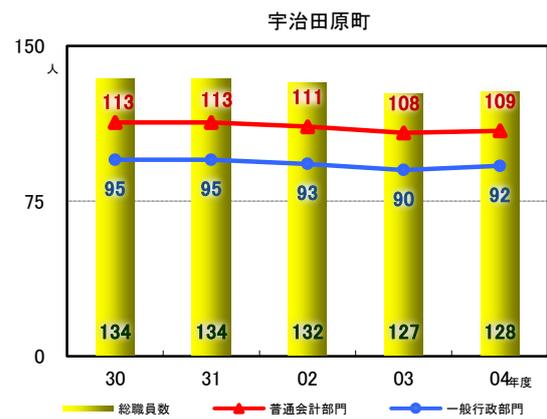
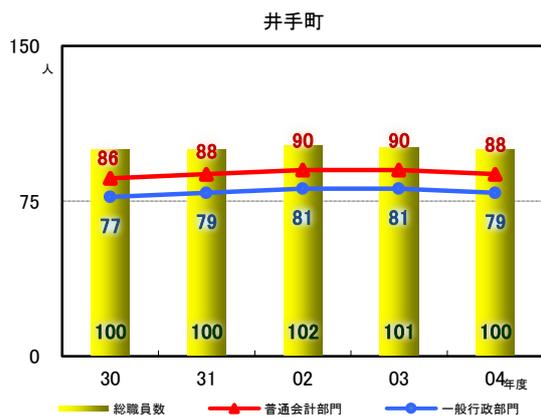
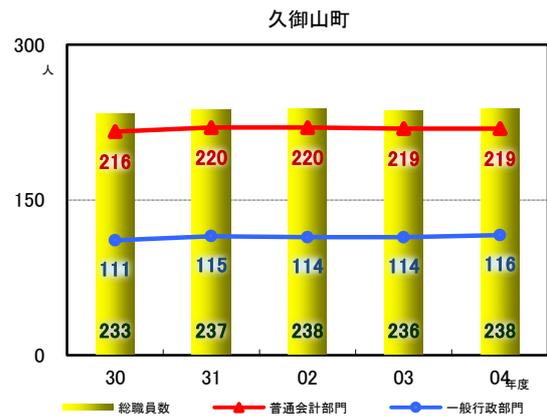
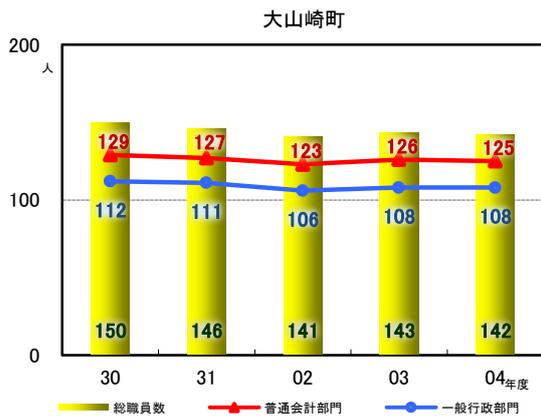
2-2 定員管理適正化の状況

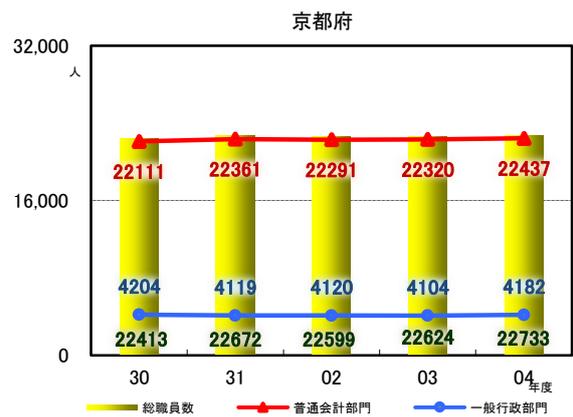
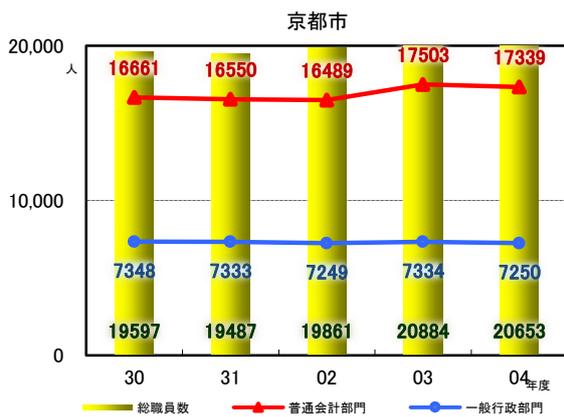
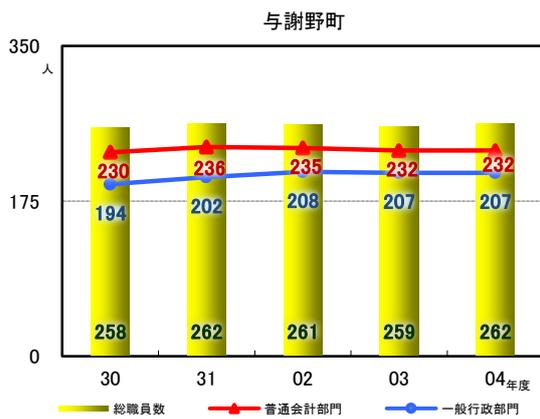
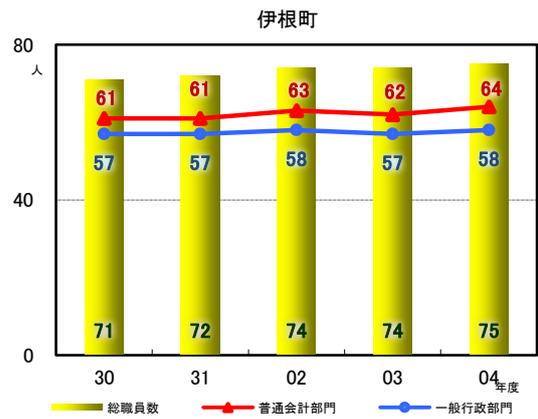
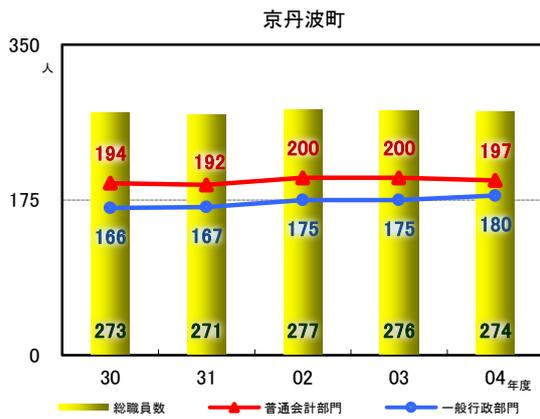
- 簡素で効率的な行政体制の整備に向け、各団体において、定員純減の数値目標を掲げた5カ年の集中改革プランに平成17年度から取り組んだ結果、平成22年4月1日現在、国の要請する目標(5.7%)を上回る8.9%の純減となりました。
 - 平成23年度以降も継続して定員管理が進められてきましたが、近年は、地方創生の推進や高齢化などによる新たな行政需要に対応すべく、一部団体において総職員数が微増傾向にあります。
- 現在、各団体においては、国の「経済財政運営と改革の基本方針2020」などを踏まえ、限られた人的資源の効果的な活用に取り組まれています。

資料11 職員数の推移(毎年度4月1日現在)





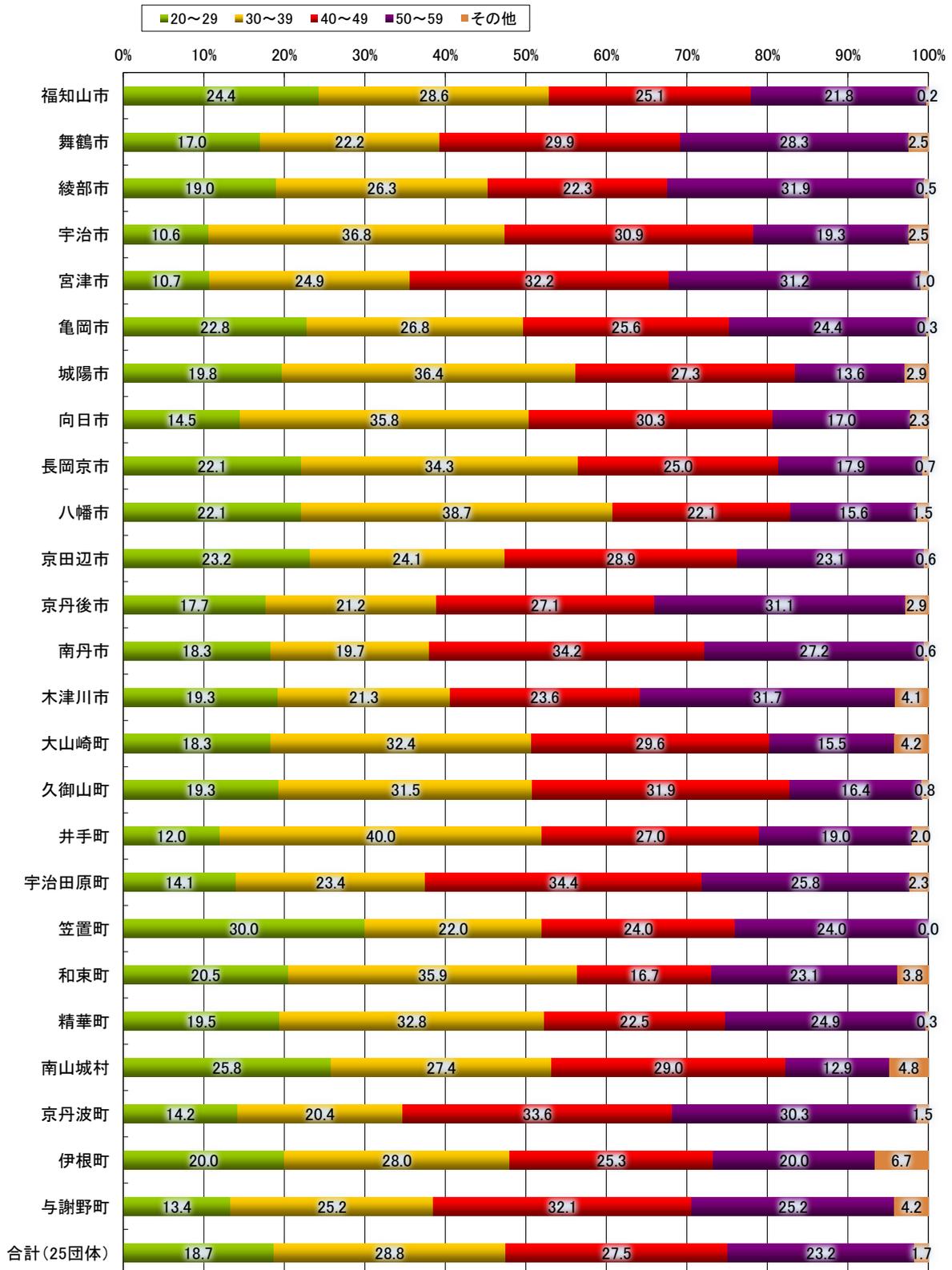




※H29. 4. 1に県費負担教職員に関する権限が都道府県から指定都市に移譲されたことに伴い、平成29年度以降は従来、京都府で計上していた教職員数を京都市において計上。

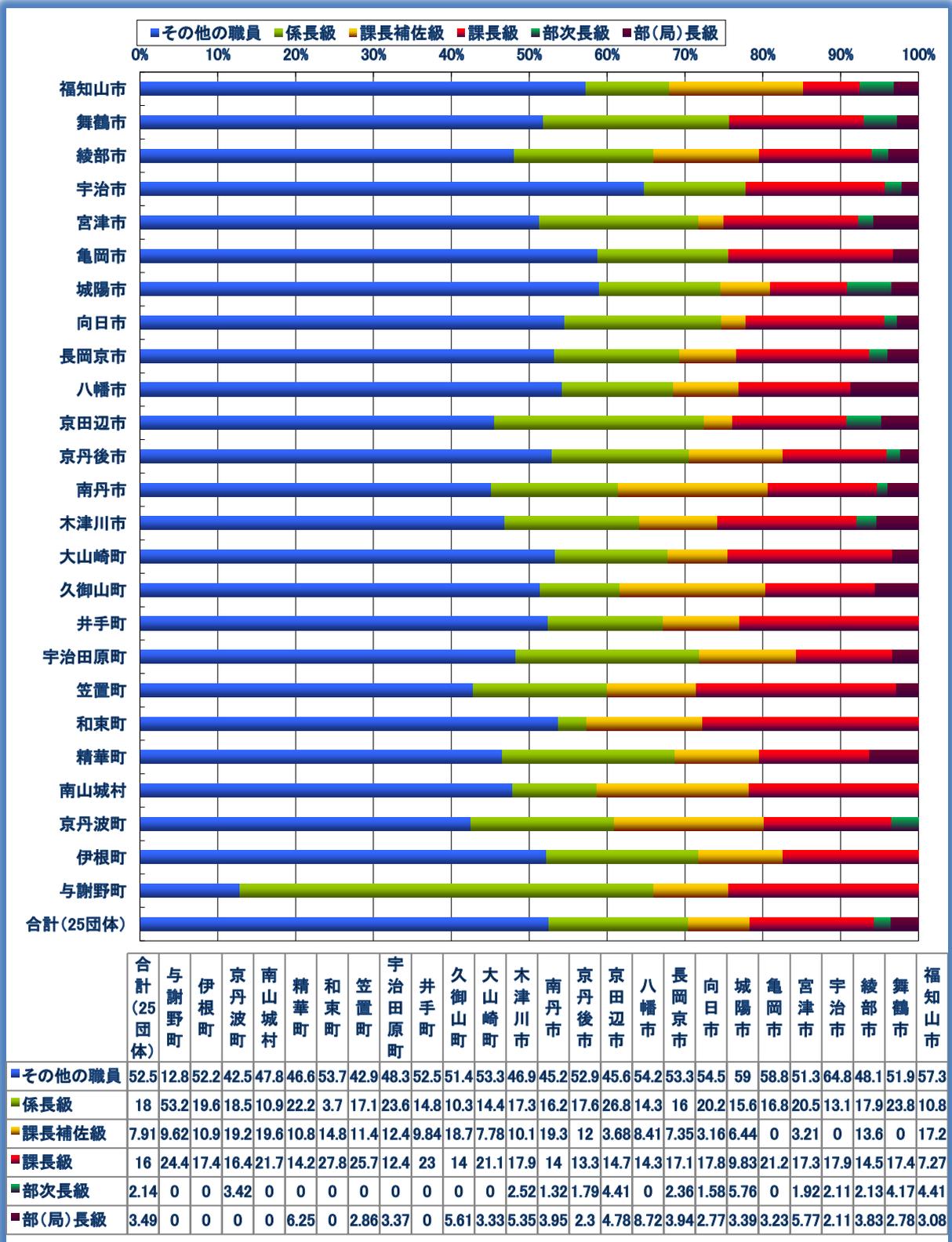
2-3 府内市町村別職員構造比較（京都市除く）

資料 1 2-1 年齢別構造（一般職員（教育長除く）：令和 4 年 4 月 1 日現在・給与実態調査より）



※一般職員（教育長除く）

資料 1 2 - 2 職務上の地位別構造（一般職職員（教育長除く）：令和 4 年 4 月 1 日現在・定員管理調査より）



※職務上の地位には、各区分の相当職（参事、主幹、主査等）を含む